

# 大型開発の再現と、カジノ誘致路線に走りだした維新府政 暮らしと子育て支援、防災と老朽インフラ対策、中小企業支 援と雇用対策等で、要求実現と大阪再生の道を

2018/2/14 宮原たけし

## 1、切実な要求が、ほんの少しでも反映されているもの（一部ですが）

### <防災>

- ①密集市街地対策の推進
- ②河川予算（府単独）の増額
- ③分譲マンション（1982年以前建設の15万戸対象）の耐震化補助の開始

### <暮らし関係>

- ①「子どもの貧困緊急対策補助金」3億円（上限2000万円）
- ②国保の広域化 — 市町村では部分的修正の動き
- ③府営住宅建て替え予算の増額
- ④中小企業の事業承継補助 — 商工会などに

### <その他>

- ①福祉医療費助成制度
  - ・精神障害1級・重度難病が新たに補助対象に
  - ・障害者は院外薬局でも負担、窓口月3回目以降も負担、上限2500円→3000円に
  - ・65歳以上の、1級以外の精神・重度以外の難病患者が対象外に（21年4月から）
  - ・精神病床への入院は対象外に（21年4月から） — 乳幼児、ひとり親も
- ②支援学校
  - ・1400名分必要に — 新設600名分、あとは既存学校で

## 2、暮らし、防災では、ほとんど具体策がないのに、大型開発とカジノは強引に進める

### ①淀川左岸線2期・延伸部

- ・2期は1100億円、延伸部は4000億円
- ・昨年3月までの府、大阪市の出資金はともに1059億円  
今後急速に増える（今までは年20億円、堺市も含めて3者で年約60億円）

- ・税投入は左岸線延伸部だけで1800億円  
うち府、大阪市は300億円ずつ、国1200億円  
2200億円は利用者
- ・本来は1998年ごろに高速道路無償化  
3回見直して2052年頃まで有料に — これもできない
- ・1キロ当たり利用者は1998年から18%減  
ところが40年後も現在と同じ交通量
- ・75歳以上人口は4～5%増加、65歳～74歳は減少、65歳未満はもっと減少

## ②なにわ筋線（南海とJRの地下鉄）

- ・総事業費3300億円  
府・大阪市で590億円ずつ、国770億円、残りの半分以上は利用客の運賃
- ・なにわ筋線完成予定時の人口は1割減  
65歳未満人口はもっと減る
- ・1日20万人、うち10万人は御堂筋線から  
現在の御堂筋線乗客数は1日110万人、うち10万人がなにわ筋線に  
年65億円地下鉄は減収
- ・関空までの時間短縮は5分～10分

## ③カジノ

- ・カジノ実施法はこれから  
大阪の夢洲に来るかも未定なのに強引に進める。
- ・カジノが来れば京阪とJRが延伸

## ④万博

- 1970年大阪万博
- 2005年愛知万博
- 2025年大阪万博

## 3、この1年の運動の方向

- ①1歩ずつでも要求を前進させる
- ②大型開発・カジノ優先路線の酷さを明らかにする — 都構想のねらいの暴露になる
- ③見出しの方向が大阪再生になる事に自信を持って
- ④国会、市町村議員団との関係で

以上